

2018年 10月24日(水)

有明新報 3面

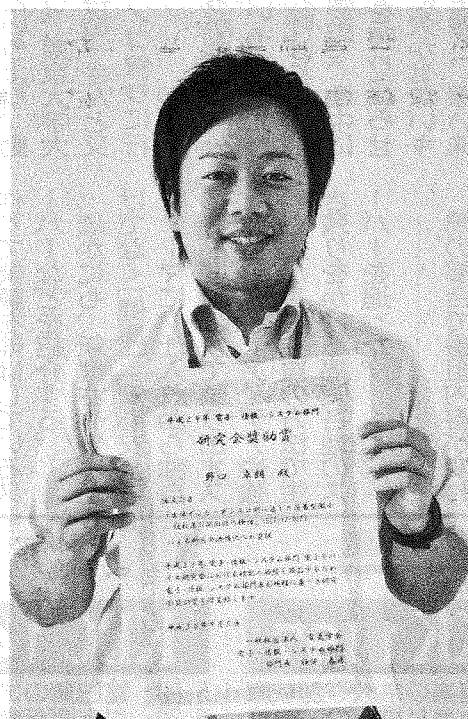
介護者の負担軽減に

有明高専

野口さん

学会で奨励賞

電気回路使い尿量測定



受賞を機にさらなる研究への意欲を話す野口さん

受賞した論文は「生体インピーダンス計測に適した簡易型微小位相差計測回路の検討」。野口さんが佐賀大学大学院生時代から続けている回路研究を応用したもの

ので、昨年1月に大牟田市で開催された電子回路研究会で発表している。ぱうこうの上に四つの電極を貼り、微少な電流を流すことによって電極間の電圧のずれを測定。通常の状態と尿がたまり、ぱうこうが大きくなった時の変化を読み取った。野口さんは自身の体で実験し、1回の実験で、3時間動かず、データを集めたという。

9月に北海道大学で表彰式が行われる予定だったが、北海道胆振東部地震の影響で中止となっていた。野口さんは「データを集めることで病理診断に役立てるかもしれない。実用化を目指して今後も研究を続けていきたい」と抱負を話した。

(矢野 大輔)

